

## 逆光の写真を HDR 風加工しよう

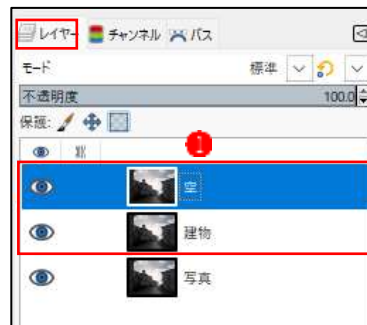
### 1 レイヤーを複製する

最近ではスマホカメラにも搭載されている[HDR]機能ですが、GIMPを使えば普通の写真をHDRで撮影したようなダイナミックな写真に仕上げることができます。サンプルデータは逆光で空が明るすぎ、建物が暗すぎます。これを補正します。



#### ① サンプルデータを開きます。

レイヤーを2つ複製して、レイヤー名を上から[空]、[建物]とします ❶。



### 2 空を強調する

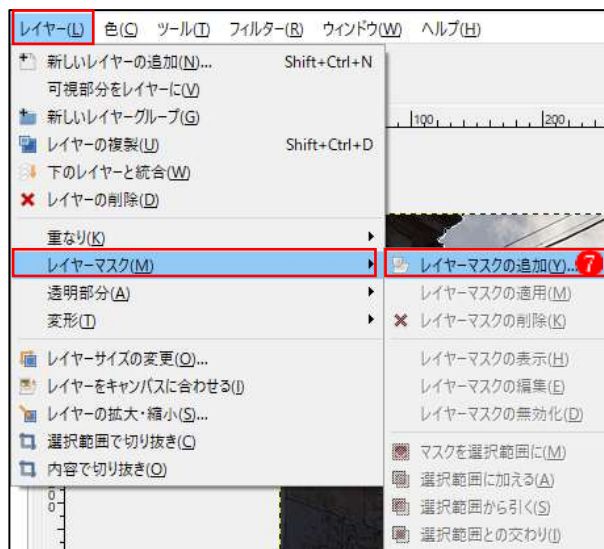
#### ① [ファジー選択]ツールや[電脳はさみ]ツールを使って、空の選択範囲を作成します ❷。



✚ ここでは、空の選択範囲をあらかじめ作成してサンプルデータに含めています。[チャンネル]ダイアログで③、[空]チャンネルを選択し④、ダイアログ下にある[チャンネルを選択範囲に]ボタンをクリックすると⑤、選択範囲を呼び出せます。



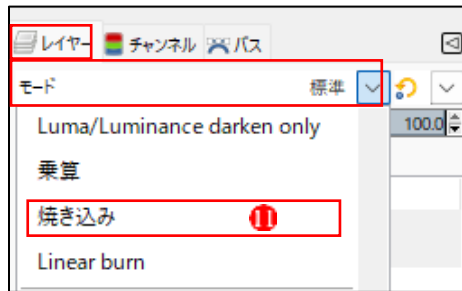
② [レイヤー]ダイアログで[空]レイヤーを選択し⑥、[レイヤー]メニューの[レイヤーマスク]→[レイヤーマスクの追加]をクリックします⑦。



③ [レイヤーマスクの追加]ダイアログで[選択範囲]にチェックを入れて⑧、[追加]をクリックします⑨。[空]レイヤーに[レイヤーマスク]が追加されます⑩。選択範囲は解除します。



④[レイヤー]ダイアログで、[空]レイヤーの[レイヤーモード]を[焼き込み]にします①。空だけコントラストが上がり、光や雲が強調されます②。

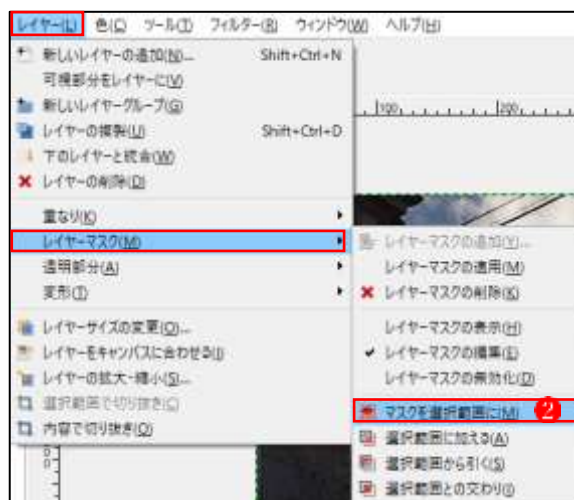


ここでの[レイヤーモード]は、[乗算]、[焼き込み]、[Linear burn]のいずれかで結果が好みのものを選びます。強調されすぎる場合は[不透明度]で調整します。もっと強調したい場合は、[空]レイヤーを複製して重ねます。

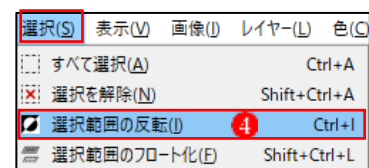


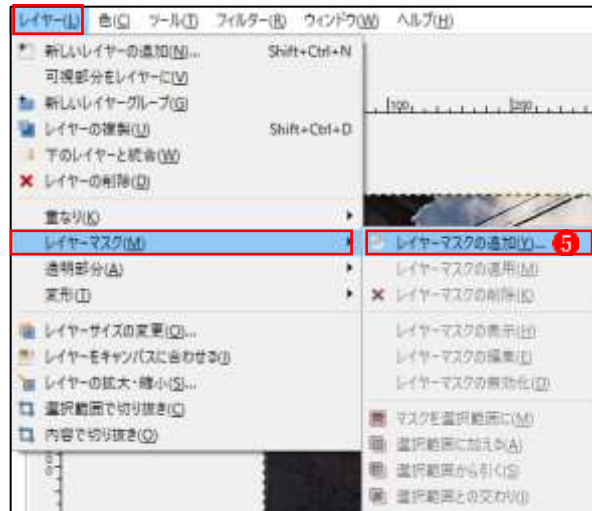
### 3 建物を明るくする

①[レイヤー]ダイアログで[空]レイヤーを選択し①、[レイヤー]メニューの[レイヤーマスク]→[マスクを選択範囲に]をクリックします②。



②[レイヤー]ダイアログで[建物]レイヤーを選択し③、[選択]メニューの[選択範囲の反転]を実行してから④、[レイヤー]メニューの[レイヤーマスク]→[レイヤーマスクの追加]をクリックします⑤。

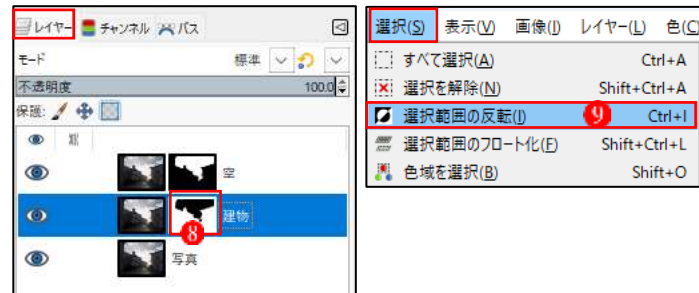




③[レイヤーマスクの追加]ダイアログでは、[選択範囲]にチェックを入れて⑥、[追加]をクリックします⑦。

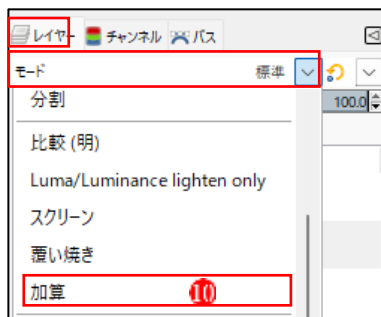


④[建物]レイヤーにレイヤーマスクが追加されます⑧。選択範囲は解除します⑨。



⑤[レイヤー]ダイアログで、[建物]レイヤーの[レイヤーマード]を[加算]にします⑩。建物部分が少し明るくなります⑪。

ここでの[レイヤーマード]は、[スクリーン]、[覆い焼き]、[加算]のいずれかで結果が好みのものを選びます。





⑥さらに建物を明るくしたいので、  
[建物]レイヤーを複製し⑫、複製し  
てできたレイヤーの[レイヤーモード]  
を[スクリーン]にします⑬。建  
物部分がより明るくなります。

